

# 高速基盤ソリューションから 業務系にサービス拡大するIWI

— 海外製品のシステムインテグレーションにも高い評価 —



株式会社インテリジェントウェイブ

証券システム開発本部長 兼 第一営業本部 第三営業部長

立野岡 健一 氏

園田 葉二郎 氏 (聞き手 MSOG編集部 富田)

## MSOG

貴社の金融市場分野での  
取り組みを教えてください

弊社はホールセール部門のディーリング環境の構築を主に手掛けてきました。中でも市況情報配信システムやメッセージングの分野での仕事が多く、この部分に関してのノウハウは弊社の強みと言えます。現在では、弊社製品である市況情報配信システムWill-TradeやメッセージングミドルウェアのRIXを中心に、海外の製品ベンダーとも積極的に提携してお客様にとっての最適な高速情報基盤の構築を行っております。また、今後の事業拡大への取り組みとして業務系のソリューションの取り扱いも開始しました。



## MSOG

現在の証券市場における  
テクノロジー面での課題と  
貴社のソリューションは

東証のarrowhead、Tdex+や大証のJ-GATEなど高速取引をサポートするシステムの導入が進むなか、中小の証券会社が高速化に対応できるシステム面の整備も課題となっていますので、弊社はその支援を行っていきたくて考えております。

また高頻度取引の普及もあり、取引所のデータが膨大な量になり、板の表示をみながらの取引でパフォーマンスを出すのも難しい状態です。そのような環境下においては取引所直結でマーケットデータを取り込むことに重要性があります。弊社は、これまで基盤、通信に力を入れて自社製品を開発してきましたし、メッセージ部分でグローバルに実績豊富な企業、Informatica社、Solace Systems社、TIBCO社などと提携し、システムインテグレーションを行っていることが強みです。最近では、リアルタイムからヒストリカル情報まで統合的に情報分析可能なOneTickを持つOneMarketData社の代理店となり、日本での顧客開拓も進んできたので、情報分析ソリューションの分野でも引き続き積極的に展開していきます。

## MSOG

導入実績、お客様の反応を  
教えてください

高速基盤ソリューションについては、お客様から品質面、サポート面で高い評価を頂戴しております。本番稼働後トラブルが少なく、arrowhead対応時は、品質面、高速性に優れているということで導入先から表彰も受けました。海外ベンダーの製品を直接導入する場合と異なり、弊社はインテグレーションも担当しますので、日本に適合しない箇所は、自ら修正できることが高い満足度につながっているものと思います。さらに、優れた海外製品の目処きにも定評があります。

## MSOG

HFT、アルゴ取引等は、  
海外が先行していますが、  
海外ベンダーとの提携関係は

海外ベンダーは、弊社が独自にWill-TradeやRIX等のメッセージングシステムを開発している技術力を評価してくれていますので、そうした海外のトップベンダーとの提携が可能になっています。提携先との協力で高品質なサービスが提供できるように、弊社技術者のトレーニングを十分に行い、社内に知識を蓄積しています。またインテグレーションに最新の注意を払っていますので、リリース後のトラブルも最小限に抑えられています。



## MSOG

今後の日本の証券市場を  
どのように見えていますか

日本の取引所も再編が始まりましたので、それを契機に、市場が活性化するようになれば、証券会社のシステム投資も活発化すると期待しています。arrowhead、J-GATE、Tdex+の導入で、アルゴ取引も活発化する兆しがありましたが、欧州危機、円高で足踏み状態になってしまいました。しかし、東証、大証の合併により取引が一元化され取引量が増えれば、弊社の強みである大量データのメッセージング機能が力を発揮できると考えています。

## MSOG

新年の抱負と  
戦略をお聞かせ下さい

足下は投資が冷え込んでいますが、お客様からリスク管理関連ソリューションの問い合わせも増えてきました。こうした声に応えるために、弊社も業容拡大し、リスク管理機能が充実したDECIDEなどの業務パッケージも取扱を行っております。また、得意分野である高速基盤のデータ処理から発展して、そのデータを蓄積して分析やアルゴ取引に役立てる新たな分野の提案をOneTickで行っていきたくて思います。

海外と日本では、ベンダーとユーザーの役割分担が異なっています。海外のソリューションを導入した場合に、その違いが原因で問題が起こることも多いので、弊社がそのギャップを埋めることでお客様の期待に応えていきたいと考えています。